

日光国立公園 満喫プロジェクト

NIKKO is NIPPON

自然・歴史・文化 美しい「日本」を感じられる東京圏のプレミアムリゾート

(数値目標) 外国人利用者数 19万人(2015年) → **50万人(2020年)**
外国人宿泊者数 9.6万人(2015年) → **25万人(2020年)**

特徴①

滝・渓谷・湖を堪能する水のアクティビティと多様な温泉

華厳の滝、中禅寺湖、戦場ヶ原、鬼怒川、塩原渓谷など、水を巡る多くの見どころで、トレッキング、ラフティング、キャニオニング、カヌーなどのアクティビティと様々な泉質・色の温泉を堪能

東武日光駅構内に英語対応可能な「日光コンシェルジュ」が常駐し、宿泊施設や現地ガイド、現地発ツアー等の予約手配を実施

中禅寺湖でのSUP、那須のスキー場でのスノーサイクリングなど、**水や雪に関連した新たなコンテンツを開発**

H29.7.10、H30.2に、海外向けメディア、外国人ガイド等を招聘して**ファミトリップを実施**

特徴②

世界レベルの文化を有する歴史的国際観光地

世界文化遺産「日光の社寺」、中禅寺湖畔の旧大使館別荘、ロイヤルリゾート「那須高原」など日本の歴史・文化を堪能

H29.6より、**那須平成の森フィールドセンター**において皇族が親しんだ那須の自然を感じながら休めるよう、**地元カフェの試験出店を開始**

ラグジュアリーホテルの進出などを見据え、富裕層を含む幅広い層を受け入れる環境整備や、旧大使館別荘の活用を検討 (H29より検討開始)

外国人にも対応できるプレミアムなツアーのためのガイド育成システムの構築 (H29より着手)

特徴③

東京圏で日本の自然・歴史・文化を体感

東京からわずか2時間で日本の高原の自然や歴史文化を体感できることを活かし、交通事業者と連携した取組を推進

JRの栃木ステーションキャンペーンパンフでの国立公園紹介、全国の旅行会社を集めた**商談会や現地視察(H29.4)**の実施

東武鉄道「SL大樹」(H29.8)、JR「いろは」(H30.4)の運行開始、**日光と那須をつなぐバス**(日光那須満喫ライナー)の運行(H29春秋、H30春)など、交通事業者との連携による強力な誘客

パーク&バスライドやシャトルバス運行などの実施による渋滞対策



半月山からみた
男体山と中禅寺湖



中禅寺湖からみた旧英国大使館別荘



東武日光駅 日光コンシェルジュ



ファミトリップの実施
(那須平成の森ガイドウォーク)



那須平成の森フィールドセンターカフェ試験出店



スノーサイクリング

日光国立公園満喫プロジェクト 中間評価

目標の達成状況 外国人利用者数が1.4倍、宿泊者数が1.3倍に

●総評

- 外国人利用者数は2015年比で約143%、宿泊者数は約131%と、年々増加している。
- 多言語化や二次交通の整備など、民間も含めて多様な取組が進んでおり、外国人利用者の満足度も高い。
- 今後は、ガイド育成やコンテンツ充実をさらに進め、宿泊割合や冬季利用の増加につなげていく必要がある。

●訪日外国人国立公園利用者数(2020年目標 50万人)

2015年 2016年 2017年
19.0万人 → 24.1万人 → 27.1万人
(5.1%) (5.0%) (5.1%) ※()は標準誤差

●訪日外国人国立公園周辺宿泊者数(2020年目標 25万人)

2015年 2016年 2017年
9.6万人 → 11.5万人 → 12.6万人
(栃木県調べ)

●国立公園での訪日外国人旅行消費額

2017年度 外国人観光消費単価 43,901円

●国立公園周辺外国人延べ宿泊数

2017年度外国人平均宿泊日数(周辺含む) 1.5泊

●国立公園での外国人リピーター率

2017年度外国人リピーター率(2回目～) 20.0%

●満足度

「大変満足」の割合 53.0%

(国立公園訪問者アンケート ※母数が185名のため、参考数値)

これまでの成果

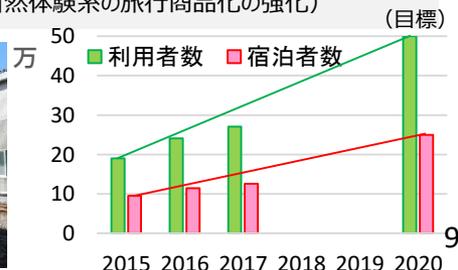
ハード整備を中心に、受入態勢整備が進む

- ◆案内標識多言語化(観光庁・文化庁の多言語解説整備支援事業と連携)、トイレ洋式化
- ◆案内機能の強化
 - ・JNTOカテゴリー2(※)の案内所「奥日光インフォメーションセンター」開所(公園周辺で4箇所目)
 - ※少なくとも英語で対応可能なスタッフが常駐。広域の案内を提供。
- ◆国立公園にアクセス・公園内を周遊する新たな交通手段の整備
 - ・日光国立公園内を横断するバス「日光・那須満喫ライナー」の運行
 - ・レンタサイクル「奥日光サイクルシェア」運用開始
 - ・東武鉄道「SL大樹」、「特急リパティ」、JR改造車両「いろは」等、新たな列車の運行開始
 - ・空港や首都圏からの新規高速バス路線の運行開始
 - ・観光タクシー、空港からや、観光地間の定額タクシーの運行開始
 - ・繁忙期のパーク&バスライド実施、駅からの送迎シャトルバスの運行(渋滞対策)
- ◆多言語マップ、パンフレット等の作成 ※英・中・韓だけでなく、タイ語、フランス語、スペイン語等でも作成
- ◆栃木DESTINATIONキャンペーン等と連携した取組
 - ・二社一寺ライトアップ、星空観察、ロープウェイ夜間運行、夜桜花見など、夜間のイベントの充実
- ◆環境省所管地内の廃屋撤去に向けた手続の開始
- ◆那須平成の森でのカフェスペース整備・試験出店

加速化・強化が必要な取組

ソフト面の強化、プロモーションの実施

- ◆自然ガイドの質の向上
 - ・自然ガイドの組織化、登録・認定制度の検討
 - ・外国語対応力、外国人への接遇力の強化
 - 「ガイド・コンテンツ分科会」で組織化や登録制度等を検討
 - ・那須平成の森を拠点にしたガイド育成システムの構築(2016年から研修事業を実施中)
 - ・2018年から自然ガイド等外国人対応力向上研修を実施予定
- ◆宿泊増や冬季の誘客に資するコンテンツの充実
 - ・夜間のコンテンツの開発、磨き上げ
 - ・冬季のコンテンツの開発、磨き上げ
 - ・富裕層も含めた外国人目線でのコンテンツの評価
- ◆日光国立公園への誘客プロモーション
 - ・県や市町の海外プロモーションと連携し、日光国立公園をPR
 - ・旅行商品化の促進(特に、自然に関するPRと自然体験系の旅行商品化の強化)



| 日光 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|--|---|---|--|--|--|
| <p>訪日外国人 国立公園 利用者数 (万人)</p> | <p>利用者数 24.1 宿泊者数 11.5</p> | <p>利用者数 27.1 宿泊者数 12.6</p> | <p>宿泊者数 約15</p> | | <p>利用者数 50 宿泊者数 25</p> |
| <p>特徴①</p> <p>滝・渓谷・湖を 堪能する 水のアクティビティ と多様な温泉</p> |    | <p>コンテンツのリストアップ、磨き上げ、受入体制強化を目的とした ファミトリップ</p> <p>広域周遊モデルコース検討</p> <p>那須高原野営場の専門家による候補地調査と改革内容検討</p> <p>ビーコンを利用した遊歩道での 情報提供検討</p> <p>那須でのQRコードとAR(拡張 現実)を利用した情報提供</p> <p>中禅寺湖におけるレンタサイ クルシステムの試験的導入</p> <p>中禅寺湖における新規遊覧 船就航</p> <p>那須VCにおけるアクティビティ 情報の一元紹介</p> | <p>ビーコンを利用した遊歩道での情報提供試験運用</p> <p>中禅寺湖におけるレンタサイ クルシステムの本格的運用開始</p> <p>中禅寺湖畔における外国人 観光案内所の設置</p> | <p>モデルコースの本格実施 地域でのPDCA</p> <p>那須高原野営場の実施設計</p>  | <p>那須高原野営場の整備</p> |
| <p>特徴②</p> <p>世界レベルの 文化を有する 歴史的 国際観光地</p> | <p>中禅寺湖南岸エリアにおける英国大 使館別荘記念公園周辺の再整備</p> <p>日光東照宮周辺の電線地中化、無電柱化</p> <p>ガイド育成講習の実施</p> | <p>那須平成の森で地元カフェ 試験出店</p> <p>「ザ・リッツ・カールトン日光」の 設計等協議</p> <p>中禅寺湖周辺、特に南岸エリアの活性化対策検討</p> | <p>那須平成の森でのカフェ本格実施</p> <p>日光湯元での廃屋撤去実施</p> <p>外国人対応強化研修の実施</p> <p>ガイド関係者の組織化（登録制度）の検討</p> | <p>廃屋撤去跡地の園地整備</p>  <p>アフター-DC</p>  | <p>「ザ・リッツ・カールトン日光」の開業</p>  |
| <p>特徴③</p> <p>東京圏で日本の 自然・歴史・文化 を体感</p> |   | <p>日光・那須満喫ライナー（バス）の試験運行</p> <p>栃木ディスティネーションキャン ペーン（DC）、プレイベント</p> <p>山の日全国大会（那須）</p> <p>JR豪華寝台列車「四季島」の 日光駅停車</p> <p>東武鉄道SL復活</p> | <p>栃木DC</p> <p>JR改造車両「いろは」 運行開始</p> | <p>アフター-DC</p> | <p>本物の 出会い 栃木</p> <p>「本物の出会い 栃木」 ディスティネーションキャンペーン 2018 4/1▶6/30</p> |

伊勢志摩国立公園 満喫プロジェクト

赤字は実施済の取組

悠久の歴史を刻む伊勢神宮 人々の営みと自然が織りなす里山里海

(数値目標) ~ 外国人利用者数 3.3万人(2015年) → 10万人(2020年) ~

特徴①

里山里海の風景を眺めるゆとりとくつろぎの環境整備

人々の営みと自然が織りなす優れた里山里海の景観を眺めながらゆとりと快適な時間を過ごすことができる環境を整備する

- ☕ “天空カフェテラス” (休憩所・展望台) の整備 (H30.8完成予定)。3月31日から一部供用開始
- 🏠 リアス海岸の絶景を展望する施設を鶴倉園地に整備 (H30.11完成予定)。3月29日から一部供用開始
- 🌳 答志島、菅島の遊歩道の再整備 (H31.3完成予定)

特徴②

悠久の歴史の中で築き上げられた文化、食、自然を実感する質の高い自然体験

自然と人との関わりの長い歴史の中で築き上げられてきた自然、歴史、文化、食をストーリー性を持った質の高い自然体験プログラムとして提供する

- 🍴 外国人アドバイザーを招聘し、伊勢志摩の食を自然や文化とともに体験する評価型ファミトリップを実施 (H29.11)
- 👥 伊勢志摩国立公園のエコツーリズム推進を目的に伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会を設立 (H30.2)
- 👥 インバウンドマーケティングセミナー (H29.9)、インスタミート (H29.12) の実施

特徴③

人々の営みと自然が織りなす里山里海を将来に引き継ぐ

貴重な資源を未永く活用し、その恩恵を享受し続けることができるよう、美しい里山里海の景観を、そこに暮らす人々とともに保全しながら、将来世代に引き継いでいく

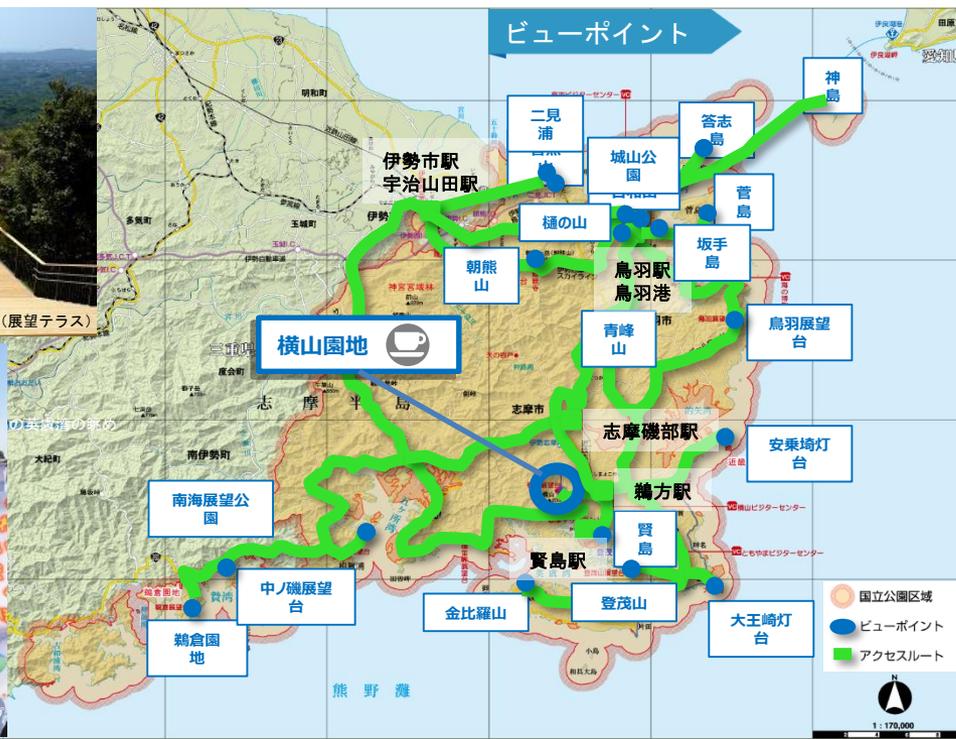
- 🚫 太陽光発電施設の設置に係る三重県景観計画の変更及び景観形成ガイドラインの作成 (H29.1) / 志摩市における再生可能エネルギー発電設備の設置と自然環境等の保全との調和に関する条例の制定 (H29.7) / 鳥羽市における再生可能エネルギー発電事業と自然環境等の保全との調和に関する条例の制定 (H30.3)
- 👥 将来の国立公園を担う人材の育成を目的に「伊勢志摩国立公園地域リーダー育成セミナー」を開催 (H29.10)



天空カフェテラス (展望テラス)



ファミトリップ



エコツーリズム推進協議会設立総会



地域リーダー育成セミナー

伊勢志摩国立公園 満喫プロジェクト 中間評価

目標の達成状況

利用者数の目標達成に向けて順調に推移

●総評

- ・伊勢志摩国立公園SUPに基づき、計画的に取組が進んでいる。
- ・これらの取組などにより、外国人利用者数が2倍以上となり、目標とする10万人の達成に向けて順調に増加している。
- ・引き続き、同SUPに基づく取組を推進すると共に、各取組の優良事例については、関係者と共有を図りながら、広域的展開を推進する。
- ・また、様々な媒体を活用したプロモーションについて、関係者とのさらなる連携強化を図り、効果的な取組を推進する。

●訪日外国人国立公園利用者数 (2020年目標 10万人)

2015年 2016年 2017年
3.3万人 → **6.1万人** → **7.6万人**
 (12.2%) (9.9%) (9.7%)

() は標準誤差

●質の指標 (平成29年)

- ✓ 国立公園での訪日外国人旅行消費額:52,027円
- ✓ 外国人平均宿泊日数(公園内):1.3泊
- ✓ 外国人平均宿泊日数(周辺含む):1.8泊
- ✓ 国立公園での外国人リピーター率(2回目~):19.8%
- ✓ 国立公園での外国人リピーター率(3回目~):12.3%
- ✓ 満足度(大変満足):44.7%
- ✓ 満足度(なんともない、やや不満、不満、大変不満):7.4%

これまでの成果

宿泊施設、観光施設においても利用者数が増加

伊勢志摩国立公園の関係市町が集計している宿泊施設及び観光施設の利用者数については、平成26年と比較して2倍程度増加している。

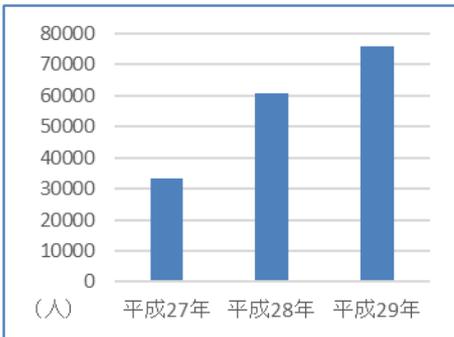
- ウェブサイトの充実、SNSの活用、パンフレットの作成・配布、マスメディアを通じた広報、旅行博への出展等を通じた多様なプロモーション活動の実施により、伊勢志摩の魅力に対する認知度の向上が図られ、利用者数の増加に貢献した。
- 多言語化等のユニバーサルデザイン化の取組、快適で質の高い利用環境の整備、ツアーコンテツの魅力向上の取組に対する成果は、今後の利用者数に反映されることが見込まれる。

加速化・強化が必要な取組

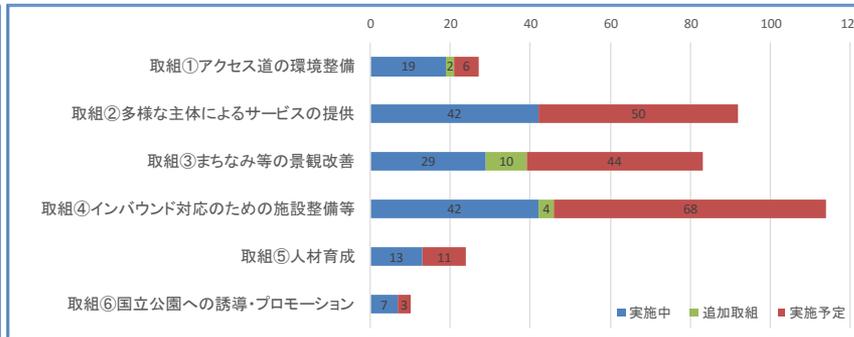
伊勢志摩をストレスのない快適な利用環境に

- 国立公園訪問者アンケート及び評価型ファミトリップの結果から、外国語対応に課題があることが利用者の視点から改めて明確になったことから、今後、多言語化の取組のさらなる加速化を推進すると共に、WiFi等の通信環境を活用した新たな多言語案内手法の検討が必要。
- 国立公園訪問者アンケートの結果、初めて伊勢志摩を訪問した利用者の割合が高いことから、利用者の満足度を高め、リピーターの増加に繋がる取組の強化が必要。

【外国人利用者数の経年変化】



【取組の進捗状況(項目毎)】



【満足度(国立公園訪問者アンケートの結果)】

| 満足度 | 全体 | 外国人 | | | | 計 | 日本人 |
|-----------|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| | | アジア | ヨーロッパ | 北米 | その他 | | |
| 大変満足 | 全体 | 38.3% | 49.0% | 40.0% | 48.1% | 44.7% | 24.1% |
| | 自然景観 | 52.1% | 66.7% | 40.0% | 63.0% | 57.8% | 42.2% |
| | 宿泊施設 | 31.0% | 54.5% | 33.3% | 35.0% | 35.6% | 30.8% |
| | 食事 | 26.7% | 44.4% | 33.3% | 43.8% | 35.0% | 25.3% |
| | ビシターセンタープログラム | 44.4% | 28.6% | 25.0% | 27.8% | 37.8% | 31.5% |
| | 案内・標識 | 29.3% | 28.6% | 30.0% | 30.0% | 32.8% | 25.6% |
| | 遊歩道・展望台 | 34.8% | 60.0% | 66.7% | 27.3% | 37.0% | 16.0% |
| | 外国語対応 | 44.2% | 50.0% | 40.0% | 30.4% | 40.5% | 21.2% |
| | 土産 | 28.6% | 40.0% | 50.0% | 30.4% | 31.6% | 21.2% |
| | 土産 | 34.1% | 53.8% | 20.0% | 37.0% | 37.2% | 21.9% |
| どちらでもない以下 | 全体 | 0.0% | 13.3% | 20.0% | 14.8% | 7.4% | 6.8% |
| | 自然景観 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 11.1% | 3.2% | 8.3% |
| | 宿泊施設 | 7.1% | 27.3% | 33.3% | 15.0% | 13.2% | 13.0% |
| | 食事 | 2.2% | 11.1% | 0.0% | 4.3% | 3.8% | 14.8% |
| | ビシターセンタープログラム | 2.2% | 28.6% | 0.0% | 11.1% | 6.8% | 17.1% |
| | 案内・標識 | 2.4% | 28.6% | 0.0% | 13.3% | 7.5% | 16.3% |
| | 遊歩道・展望台 | 8.7% | 0.0% | 0.0% | 4.5% | 6.2% | 28.0% |
| | 外国語対応 | 14.3% | 12.5% | 0.0% | 17.4% | 12.7% | 26.3% |
| | 土産 | 4.9% | 7.7% | 0.0% | 11.1% | 7.0% | 25.2% |

| 伊勢志摩 | 個別目標 | 2016 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 |
|-----------------------------|---|--|---|---|---|---------------------------------|
| | | 利用者数 3.3 | | | | 利用者数 10 |
| 特徴① くつろぎの 環境整備 | 2018年 横山園地における「天空カ フェテラス」のオープン 2018年 鵜倉園地における展望台の リニューアル 2018年 答志島、菅島の遊歩道の再 整備 | 【天空カフェテラスの整備】  【鵜倉園地の再整備】  | 「天空カフェテラス」の設計・工事 鵜倉園地における展望台の再整備 答志島、菅島の遊歩道の再整備 | | 「天空カフェテラス」の供用・カフェの運営 鵜倉園地 展望台の供用 遊歩道の供用 | |
| 特徴② 質の高い 自然体験 | 2018年～2020年 コンテンツの磨き上げ 2018年 「伊勢志摩国立公園エコ ツーリズム推進協議会」の 設立 2017年～2020年 自然解説活動に係るインス トラクター、ガイド等の人 材育成 | 【ファミトリップの実施】  【エコツー協議会設立総会】  | ファムトリップ 準備会 → 設立総会 | 全体構想の策定 | 評価を踏まえたコンテンツ磨き上げ 全体構想に基づく取組の 実施 | インストラクター等の人材育成を目的としたセミナー等の実施 |
| 特徴③ 資源の継承 | 2017・18年 景観計画の変更、再エネ条 例制定等 2017年～2020年 地域住民への普及啓発 | 【条例制定等による景観保全】  【人材育成セミナーの実施】  | 三重県景観計 画の変更等 志摩市再エネ条例 の制定 鳥羽市再エネ条例の制定 | 三重県景観計画及び景観形成ガイドラインの運用による景観管理 「志摩市における再生可能エネルギー発電設備の設置と自然環境等の保全との「調和に関する条例」の 運用による景観管理 「鳥羽市における再生可能エネルギー発電事業と自然環境等の保全との調和に関する条例」の 運用による景観管理 | | 地域に自然保護の重要性を再認識してもらうためのセミナー等の実施 |